

冬期間のスリップ事故防止！

～過去3シーズン(12月～3月)における交通事故発生状況～

1 交通事故発生状況

	H28シーズン	H29シーズン	H30シーズン	3シーズンの平均
	H28.12 ～H29.3	H29.12 ～H30.3	H30.12 ～H31.3	
期間中の全事故 (件数)	2,236	2,079	1,679	1,998
うちスリップ事故	485	453	281	406.3
構成率	21.7%	21.8%	16.7%	20.3%
死者数 (人)	11	5	17	11
うちスリップ事故での死者数	2	2	2	2.0
構成率	18.2%	40.0%	11.8%	18.2%

※ 死亡事故は5件(死者数 6人)



2 スリップ事故に起因する交通死亡事故

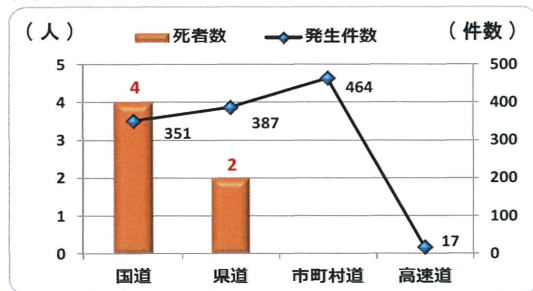
発生日	時間	場所	路面状況	事案の概要 (●は死者)
1 平成29年 2月24日	14:50	小国町 国道113号 トンネル内	凍結 (ブラックアイス)	軽トラック (●84歳男性運転、●85歳女性同乗) がトンネル内でスリップし、対向の大型貨物と正面衝突
2 平成30年 1月15日	7:23	高畠町 国道113号 トンネル内	凍結 (部分的) (ブラックアイス)	軽トラック (●62歳男性運転) がトンネル内でスリップし、対向の中型貨物と正面衝突
3 平成30年 2月19日	12:45	金山町 国道13号 トンネル内	凍結 (部分的) (ブラックアイス)	軽トラック (●36歳男性運転) がトンネル内でスリップし、対向の大型貨物車と正面衝突
4 平成31年 1月25日	8:50	山形市 県道 交差点	圧雪凍結 (アイスバーン)	普通ワゴン車 (39歳男性運転、●80歳女性同乗) が突き当たりとなる丁字路交差点を左折する際、スリップして路外に転落
5 平成31年 2月10日	16:40	酒田市 主要地方道 単路(上り坂)	圧雪凍結 (アイスバーン)	普通乗用車 (59歳男性運転) が上り坂でスリップし、対向の軽乗用車 (●67歳女性運転) と正面衝突

〔死亡事故の特徴〕
死亡事故5件(死者6人)は、いずれも国道・県道の幹線道路で発生しており、4件が正面衝突、3件がトンネル内の事故である。

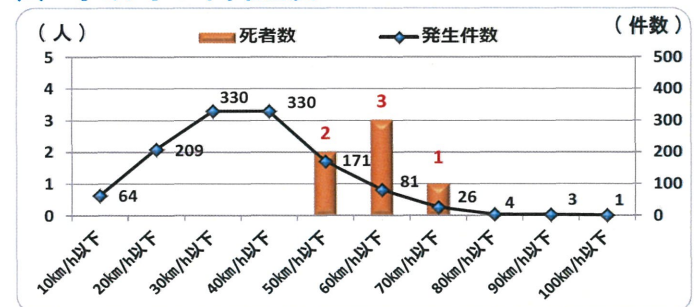


3 スリップ事故の特徴

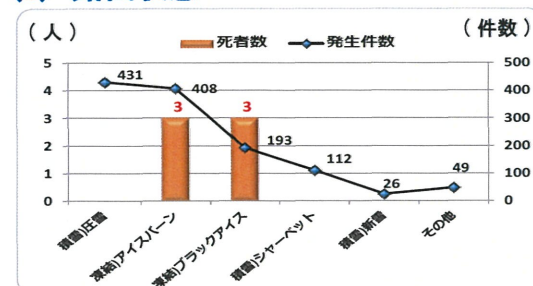
(1) 路線別



(2) 事故時の車両速度



(3) 路面状態



〔スリップ事故の特徴〕

- 路線別 ～発生件数は市町村道が多い
- 死亡事故は国道や県道で発生
- 走行速度～事故の76%は時速40キロ以下で発生
- 死亡事故40キロを超える速度で発生
- 凍結路面～死亡事故は凍結路面で発生

冬道の安全運転5則

- ① スピードは、夏場より10キロ以上減速する。
- ② 車間距離は、路面乾燥時の2倍以上とする。
- ③ 急加速、急ブレーキ、急ハンドル等の急激な操作を避ける。
- ④ 視界不良時は、前方をよく見て早めに徐行する。
- ⑤ 危険がいっぱい。追越しはしない。

スリップ事故防止のポイント

- 時間にゆとりをもって運転する
- 急操作となるブレーキやハンドル操作を控える
- 速度の出し過ぎに注意し、早めに減速する
- 橋上やトンネル出入り口等の部分凍結に注意する

